第5回日中国学教育研究国際会議報告 —映像編—

Report on 5th Japan-China Joint Conference on Graphic Education

斉藤 孝明 Takaaki SAITO

2001年夏に大阪で開催された第5回日中国学教育研究国際会議は盛況であった。学術的な報告は『図学研究』前号に譲るとして、本報では写真にてその概要を振り返ってみたい。

写真1 Weiss氏の祝辞

写真2 Stachel氏の招待講演

写真3 董国耀氏の招待講演

大阪ガーデンパレスホテルを会場として開催された本会議は回を重ねるごとに隆盛となってきたようで、今回は、中国から22名、ラオスから2名の参加者があった他、開会式では国際図学会会長のGunter Weiss氏より「Geometry and Graphics Education in Europe」という表題で御講演いただいた(写真1)。

また、Stachel氏に招待講演を行っていただいた。写真2は「Recent Results of Applications of Descriptive

(Constructive) Geometry to Mechanical Design」を講演するStachel氏である。

外は猛暑であったが、空調の整った快適な会場で会議は進行した。

中国側からの招待講演はGuoyao Dong氏に行っていた。写真3は「Engineering Graphics Education Facing the 21st Century in China」の表題で講演する模様である。

写真4 式典会場風景

写真6 セッション発表風景(2)

写真5 セッション発表風景(1)

写真7 セッション発表風景(3)

写真8 Banquet 風景(1)

写真9 Banquet 風景(2)

式典会場は広々としており、約100名の参加者は余裕をもって参加することができた。外の猛暑とは対照的に会場は快適な状態が維持されていた。1日目の午後からはセッションに分かれて発表が行われた(写真5～写真7)。発表によっては立ち見が出るほどの盛況であったようである。発表は3日間に渡って行われた。

発表会場の設備は非常に充実しており、各部屋に最低2つのスクリーンと2台の液晶プロジェクタ、WindowsとMacintosh コンピュータが用意されていた。発表者の大多数はパワーポイントのようなプレゼンテーションソフトを利用していたようである。

今大会の通訳の充実ぶりには目を見張るものがあった。写真7は通訳とともに発表している様子である。3日間休みもほとんどなく通訳をしてくださった方々に感謝である。ま

写真10 Banquet 風景(3)

写真11 中西金属工業見学風景

写真12 大阪城見学風景

写真13 大阪電気通信大学見学風景(1)

写真14 大阪電気通信大学見学風景(2)

た、通訳を利用する側も、一気に長文をまくしたてることも少なくなり、なれてきたことが伺えた。

会議開催期間の中日に行われた Banquet ではさまざまな催しがあった。写真8は会議の開催に尽力された先生方への花束贈呈の様子である。

立食形式で時間が過ぎる中、マイクは一時も空くことがなかった。写真9は Weiss 氏と Stachel 氏の熱唱である。毎回恒例になっている M 先生の詩吟なども行われ、終始にぎやかな Banquet であった。

写真10は日中図学教育研究国際会議の Banquet の終盤の恒例行事となっている大人数での熱唱である。このあと日中両国のほぼ全員で熱唱が行われ、お開きと成った。

会議日程終了の翌日は見学会が開かれた(写真11)。最初の訪問先の中西金属工業はベアリングリテーナーの分野での大手企業である。見学者を意識し

てか、製造工程でのコンピュータの利用状況の説明に力点が置かれていた。一通りの説明のあと、工場を見学し、最後は質疑応答でお開きとなった。

工場見学のあとは大阪城見学であった(写真12)。炎天下の中、駐車場から天守閣まであるく道のりの日差しは強烈で、日傘をさす方が多数おられた。暑さで体調をくずされた方はいらっしゃらなかったようである。

見学会の最後の訪問は大阪電気通信大学の新進気鋭の設備の見学であった。

写真13に見られるように、学生一人当たりのスペースがゆったりとしており、それでいて充実した設備が全員分に配置されていた。

さまざまな設備を見学させていただいた。写真14はその中のスタジオである。